

縮小社会研究会 第 61 回研究会



日時：2022年2月5日(土)、14:00-15:30

オンライン(zoom)

<https://us02web.zoom.us/j/81060884037?pwd=alRGellQdlNkb3JjUHJHN3J1MU5qUT09>

ミーティング ID: 810 6088 4037

パスコード: 180379

大量生産、大量消費がエネルギーの枯渇と CO2 の増加などの環境の悪化をもたらします。また、生産された製品は最後はごみとしてどこかに捨てられるか、焼却されて CO2 になります。これまで、文明を資源と生産物で見ていきましたが、ごみという最終の姿から見る必要もあります。

ごみは意外に雄弁だ

講師：浅利美鈴（京都大学大学院地球環境学堂 准教授、
京都超 SDGs コンソーシアム代表）

講演要旨：プラスチックごみや、食品ロスなど、注目を集めるごみ問題。昨今の SDGs ブームで、改めて注目度が上がっています。サーキュラーエコノミーや、脱炭素社会構築に向けては、新たな技術・システムを望む声も、真剣度を増しています。縮小社会においては、ごみはどのように変容していくのでしょうか。

1980 年から続く、京都市・京都大学家庭ごみ細組成調査の結果などを踏まえつつ、みなさんと未来の行方について議論できればと思います。



浅利美鈴さんの略歴：2000 年、京都大学工学部地球工学科卒業。2004 年、工学博士。現在は京都大学地球環境学堂准教授。研究テーマは「ごみ」や「環境・SDGs 教育」。世界中の「ごみ」や暮らしぶりを観察して歩く日々を送る。社会の縮図として、京都大学のサステイナブルキャンパス化にも取り組む。学生時代に「京大ゴミ部」を立ち上げ、環境啓発・教育活動に取り組み始め、2005 年からは、京都議定書達成に向けた「びっくり！エコ 100 選」、エネルギー問題にアクションを起こす「びっくりエコ発電所」、京都における SDGs 実装を目指す「エコ〜るど京大」や「京都超 SDGs コンソーシアム」「京都里山 SDGs ラボ（ことす）」などを展開。2022 年 11 月に第 15 回を開催する「3R・低炭素社会検定」の事務局長も務める。

参加登録：松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで連絡願います。非会員の方は、松久まで氏名と所属などをお知らせ願います。参加費は無料です。

会員の方へ：当日 15:45 より第 10 回総会を開催します。zoom のアドレスは同じです。